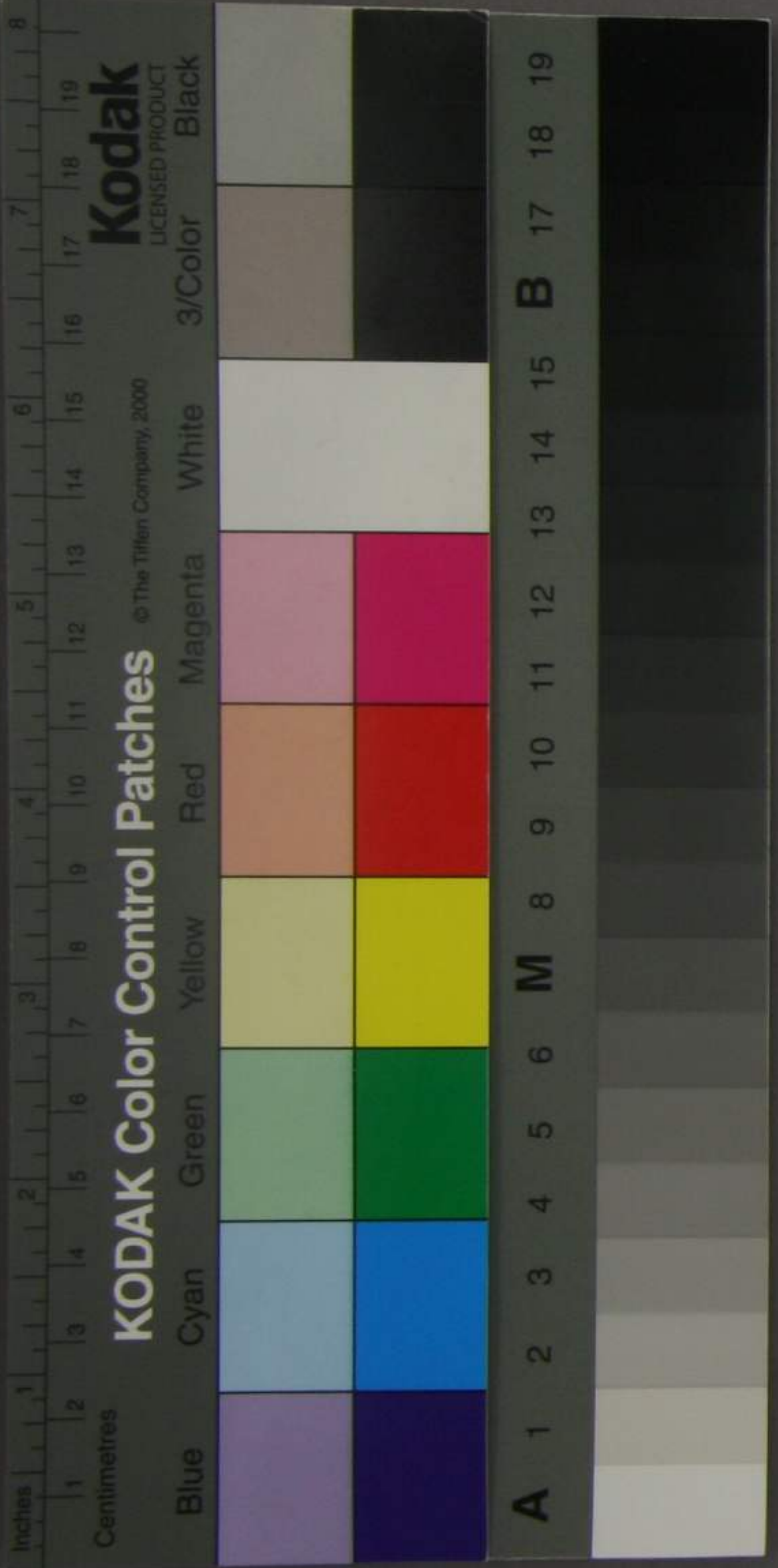


114
A 2555

日本
謹啓

大正
十一年
四月
贈月

條約亦將ニ實施セラレントスルノ今日ニ際
シ司法政務ノ弛張就中法權司掌ノ任ニ當ル
裁判官ノ能力伎倆ノ如何ハ以テ法典ノ價量
ヲ左右シ人權ノ安固ヲ消長シ或ハ延ヒテ國
交際ニ影響ヲ來シ帝國ノ威信ニ關係ヲ及ボ
ス頗ル大ナルモノアルヘキヲ思ヒ之ニ應ス
ルノ要務ハ無能老朽ノ判檢事ヲ淘汰スルヨ
リ急ナル無キヲ認メ斯案ヲ具シテ閣下ニ致



シ之カ断行ヲ仰カンコトヲ評決セリ
蓋シ現在ノ判檢事ニ就テ之レヲ視ルニ登用
試験制ノ實施前已ニ其職ニ在リシ所ノ者ハ
之レカ資格ノ有無ヲ議ス可カラスト爲シ依
然其職任ヲ繼續セシメシカ故毫モ法律ニ関
スル素養ヲ有セスシテ其職ヲ繫クニ至リシ
者甚タ少ナシトナサズ而シテ裁判所構成法
施行ノ結果ハ偶此等無能ノ徒ヲシテ漸ク上
ニ蔓リ共ニ相携ヘテ一定ノ學歷アル新人物
ノ進路ヲ塞クノ機會ヲ與ヘシムルコトナ

リ稍ヤ其畧ニ適スヘキ後進ノ士有ルモ空シ
ク下級ニ沈淪シテ其技能ヲ顯ハスニ由ナカ
ラシメ殆ント司法部ヲ擧ケテ意氣銷沈ノ極
ニ陥ラシメ甚シキニ至テハ職ヲ判檢事ニ奉
セントスルヲ以テ士人ノ面目ヲ汚ストナス
カ如キ感ヲ生スルニ至ラシメタルモノアリ
日本辯護士協會ハ深ク方今ノ時弊ニ鑑ミル
所アリ今日ヲ以テ判檢事ノ一新更迭ヲ計圖
スヘキ最急最要ノ時期ナリト認メ登用試験
制ノ實施以前ヨリ在職セル判檢事ノ如キハ

特ニ俊秀ノ蹟アル者ヲ除ク外無能其職ニ堪
ハサル者トシテ一掃シ去ルノ方針ヲ定メ之
レカ淘汰ヲ断行スヘキヲ以テ我司法部ノ信
用ヲ中外ニ保持スヘキ唯一ノ要務ナリト認
メタリ

頃者前内閣最後ノ施設トシテ見ルヘキ判檢
事ノ淘汰處分ニ関シ頻リニ論難ヲ加ヘ判檢
事ノ淘汰處分ニ對シ妨害ヲ策ントスル者アリ
日本辯護士協會ハ其志ヲ辯シ併セテ別ニ
意見ヲ具シテ之ヲ表白セリ茲ニ之レヲ閣下

ニ致シ且ツ特ニ委員ヲ撰定シ主ハラ老朽判
檢事淘汰ノ要急ナル所以及ヒ其方法等ニ関
シ親シク開陳スル所アレシメント欲ス希ク
ハ閣下ノ採納ヲ賜ハンコトヲ 敬具

明治三十一年八月

日本辯護士協會

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

Blank manuscript page with vertical red lines for writing columns.

判檢事ノ淘汰ニ關スル意見

日本辯護士協會



大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

判檢事ノ淘汰ニ關スル意見

日本辯護士協會

賢ヲ舉ケ、不肖ヲ斥クルハ、爲政ノ大本タリ。老朽無能ノ士ヲシテ、俸祿ニ安ンセシムルハ、畜ニ聖世ノ瑕瑾タルノミナラス、國民ノ不幸焉。ヨリ大ナルハ、莫シ特ニ生殺與奪ノ權ヲ直接ニ施行スル。法官其人ニシテ、不學無術、其職ニ堪ヘサルアラ乎。國民ノ生命財產ハ、何ニ依テカ保護セラレ、ナリ得ン。司法革新ノ事項多シト雖、氏老朽判檢事ノ淘汰ヨリ急ナルハ、ナシ。國家カ其登用法ヲ嚴ニシ、人材ヲ精選スルニ汲々タル所以ノモノ實ニ茲ニ慮ル所アレハナリ。

二
纏。テ。現。在。ノ。判。檢。事。其。人。ヲ。見。ル。ニ。試。驗。制。度。實。施。以。前。ニ。任。命。セ。ラ。レ。テ。法。律。ノ。學。識。欠。乏。セ。ル。モ。頗。ル。多。ク。甚。シ。キ。ニ。至。テ。ハ。當。時。行。政。官。ト。シ。テ。無。能。其。任。ニ。堪。ヘ。サ。リ。シ。者。ハ。驅。テ。以。テ。判。檢。事。ノ。閑。職。ニ。轉。セ。シ。ム。可。シ。ト。爲。シ。材。能。學。識。共。ニ。具。ハ。ラ。サ。リ。シ。ノ。故。ヲ。以。テ。此。ノ。職。ヲ。得。セ。シ。ム。ル。ニ。至。リ。シ。所。謂。新。律。綱。領。時。代。ノ。遺。物。モ。亦。決。シ。テ。少。シ。ト。爲。サ。ス。此。輩。ヲ。シ。テ。至。重。ナル。司。法。權。運。用。ノ。任。ニ。當。ラ。シ。ム。ル。豈。ニ。亦。危。カ。ラ。ス。ヤ。此。レ。老。朽。淘。汰。ノ。聲。ヲ。シ。テ。上。下。ニ。充。滿。ス。ル。ニ。至。ラ。シ。メ。タル。所。以。ナ。リ。況。ン。ヤ。新。法。ノ。實。施。ハ。此。等。無。能。ノ。在。職。者。ヲ。シ。テ。其。職。ヲ。曠。フ。ス。ル。ニ。ア。ラ。サ。レ。ハ。即。チ。其。職。ヲ。誤。ラ。シ。ム。ル。ノ。危。頭。ニ。立。タ。シ。ム。ル。ニ。於。テ。オ。ヤ。又。況。ン。ヤ。改。正。條。約。實。施。ハ。旦。夕。ニ。迫。レ。ル。今。日。ニ。當。リ。上。級。司。法。官。ノ。無。能。ハ。帝。國。ノ。威。信。ヲ。欲。ク。ハ。ミ。ナ。ラ。ス。延。テ。累。チ。國。際。上。ニ。及。ホ。ス。ノ。虞。ア。ル。ニ。於。テ。

テ。オ。ヤ。惟。フ。ニ。老。朽。淘。汰。ノ。必。要。ナル。未。タ。今。日。ノ。如。ク。急。ナル。ヲ。見。ズ。
前。内。閣。末。ニ。於。ケ。ル。上。級。法。官。某。々。ノ。辭。職。ハ。司。法。部。ニ。於。ケ。ル。近。來。ノ。快。事。ニ。シ。テ。淘。汰。ノ。大。勢。ハ。沛。然。ト。シ。テ。其。端。ヲ。開。キ。タル。ニ。依。リ。世。人。ハ。皆。領。ヲ。引。キ。望。ヲ。司。法。部。ノ。刷。新。ニ。屬。シ。一。瀉。千。里。ノ。勢。能。ク。老。朽。無。能。ノ。法。官。ヲ。一。掃。シ。盡。ス。蓋。シ。近。キ。ニ。ア。ル。ヘ。シ。ト。信。シ。タ。リ。然。ル。ニ。何。者。ノ。頑。迷。漢。ソ。敢。テ。口。ヲ。朋。黨。比。周。ニ。籍。リ。妄。リ。ニ。辭。ヲ。憲。法。ノ。蹂。躪。ニ。託。シ。法。官。獨。立。ノ。美。名。ヲ。以。テ。利。祿。戀。々。ノ。情。ヲ。包。藏。シ。此。ノ。空。前。ニ。シ。テ。且。ッ。恐。ラ。ク。絶。後。ノ。必。要。タル。ヘ。キ。更。始。一。新。ノ。計。圖。ニ。向。テ。妨。害。ヲ。策。セ。ン。ト。ス。ル。ア。ラ。ン。ト。ハ。頃。者。兒。島。惟。謙。氏。ノ。忠。言。書。ナル。モ。ノ。新。紙。ニ。掲。載。セ。ラ。ル。滔。々。數。千。言。前。内。閣。末。ニ。於。ケ。ル。司。法。部。ノ。更。迭。ヲ。痛。論。シ。テ。革。新。ノ。革。新。タル。ヲ。爲。サ。ス。活。斷。ノ。活。斷。

タルヲ爲サストナシ、遂ニ淘汰ヲ目スルニ「廉潔ノ放逐」ヲ以テシ
處分ヲ呼フニ「違憲違法」ヲ以テシ、將ニ人ヲシテ淘汰其物ノ間ニ
是非ノ疑ヲ狹マシメントスルニ至レリ、老成兒島氏ノ如クニシ
テ此言ヲ爲スハ余輩ノ怪訝ニ堪ヘサル所、氏ノ爲メ將タ司法部
ノ爲メ慨歎セサルヲ得サルナリ、朋黨結托ノ事ハ姑ラク措テ問
ハストスルモ、公々然之レヲ呼フニ憲法蹂躪ヲ以テシ、廉潔ノ放
逐ヲ以テシ、革新ノ前途ニ向テ妨害ヲ與ヘントスルノ意見アル
ニ至リテハ、余輩其路ヲ共ニスル者ノ看過スルヲ得サル所、請フ
姑ラク忠言書載スル所ノ項目ヲ遂ヒ一々其妄ヲ辯スル所アラ
ン、

四

第一

忠言書ノ起草者ハ、曾禰前司法大臣ガ夫ル六月二十五日ヲ以テ
自己ノ辭表ヲ提出シナカラ、同月廿七日淘汰處分ノ裁可ヲ奏請
シタルハ冒進ナリト稱シ、畢竟苦計密策ノ畫餅ニ屬スルヲ恐レ
皇忙トシテ斯ル所爲ニ出タルナリト論シ、檢事ノ更迭ヲ評シテ
ハ、横田前司法次官カ一派ノ私朋ヲ採ルニ急ニシテ、内閣更迭ノ
際失職ノ機ヲ免レンカ爲メニシタルナリト斷論セリ、余輩ハ、何
カ故ニ其所謂曾禰氏ノ冒進ト、横田氏ノ私心ヲ懷抱スルトガ處
分其物ハ是非ヲ觀察スルニ付テ論究ヲ要スルハ問題タルヤチ
解スル能ハサルナリ、假令二人者ニシテ如何ナル苦計密策ノ存
セシアリトスルモ、將タ如何ナル野心ヲ抱藏セシアリトスルモ、
是宜シク二人者ニ對スル德義上ノ問題トシテ論難スヘキノミ、
若シ淘汰セラレタル判檢事ニシテ其職ニ適シ、登用セラレタル
判檢事ニシテ却テ其器ニ非スンハ、假令至公至正ノ心ヲ以テ處

五

分シタリトスルモ尙且非難ヲ加ヘサル可カラス之ニ反シ斥ケ
ラレタル者老朽ニシテ擧ケラレタル者俊材タラハ假令當局者
ニ多少ノ野心ヲ包藏セリトスルモ結局司法革新ノ輿望ニ副ヘ
ルモハトシテ其處置ヲ稱セサルベカラス之ヲ要スルニ黜陟ノ
當否ヲ論セント欲セハ當サニ其黜陟セラレタル者ノ能ク如何
ニ就テ論斷ヲ下スヘキノミ何ソ必スシモ處分ノ經過ヲ揣摩シ
隱微ヲ摘抉シ強ヒテ惡意ヲ以テ他人ノ心事ヲ忖度シテ論難攻
撃スルコトヲ須井ンヤ世或ハ起草者カ直ニ黜陟ノ當否ヲ論究
スルヲ避ケ徒ラニ他者ノ心事ヲ攻撃スルニ急ナルヲ見以テ名
ヲ法官獨立ノ擁護ニ藉リ實ハ私忿ヲ漏サント欲スルニ非ルナ
キヤヲ疑フモノアル亦理ナキニアラサルナリ

六

起草者ハ亦處分ノ事必スシモ大急ヲ要セス須ク新任大臣ニ引

繼ギテ其決斷ニ委スヘキナリト斷言セリ然レハ淘汰處分ノ急
要ナル一日ヲ早クスレハ一日ノ利益アリ一人ヲ淘汰スレハ一
人ノ効果アリ幸ニ好機ヲ捉ヘテ而カモ斷行ヲ躊躇セハ一旦
機會去テ後チ復タ回ス可カラサルノ困難ヲ生スルニ至ルヤモ
未タ知ル可カラス余輩ハ寧ロ當局大臣カ能ク疾雷耳ヲ掩フニ
遑アラサルノ快事ヲ斷行セシチ多ナリトシテ贊賞セサルヲ得
サルナリ

第二

起草者ハ處分ノ結果トシテ數人ノ拔擢セラレタルモノアルヲ
列記シテ之レ黨人ノ私利ヲ分ツモノナリト爲シ司法部ノ秩序
ヲ紊リ私黨ノ威福ヲ弄スルモ亦甚シト斷言セリ私黨ノ威福ヲ
弄スル者アリヤ否ハ余輩之ヲ知ラスト雖レ其司法部ノ秩序ヲ

七

八
素ルト稱スルニ至テハ其言ノ奇異ナルニ驚カスンハアラサル
ナリ夫レ苟モ淘汰ヲ斷行シ眞ニ革新ノ實ヲ舉ケント欲セハ必
スヤ大ニ俊材ヲ拔擢シテ之ヲ任スル要アルコト固ト論ヲ俟
タサル所ナリ拔擢セラレタル判檢事ノ能ハ措テ問ハス直ニ
指シテ以テ朋黨比周ト爲シ進テ司法部ノ秩序ヲ紊ルナリ
ト云フニ至テハ余輩其何ノ意タルヲ解スル能ハサルナリ起草
者曰ク之レ司法部有リテヨリ未曾有ノコトニ屬セリト未曾有
ノゴト必スシモ稅舉ト云フ可カラズ知人ヲ登用スル必スシモ
比周ト云フ可カラズ要ハ唯其舉ケラレタル判檢事ト斥ケラレ
タル判檢事トノ材器ノ優劣如何ニ存スルノミ若シ夫レ單ニ未
曾有ノ拔擢タルノ故ヲ以テ又單ニ知人ヲ援用セルノ故ヲ以テ
則チ秩序ヲ紊リ威福ヲ弄スト云ハ淘汰ハ如何ニシテカ行ハ

九
レ革新ノ實ハ如何ニシテカ舉ラシ故ニ苟モ起草者ニシテ處分
ノ結果ヲ非難セント欲セハ拔擢セラレタル判檢事諸氏ノ無能
ナルコトヲ證セサル可カラズ其不適任ナルコトヲ論セサル可
カラス然ルニ一言ノ能否ニ及フナク否其適否ヲ論證スルコト
能ハスシテ徒ニ朋黨比周ヲ以テ之ヲ傷ケントス何ソ其言ノ詭
激ニシテ正鵠ヲ失スルノ甚シキヤ

第三

起草者ハ横田前司法次官カ退職處分ヲ行フニ當リ大審院判事
ヲ招キ協議ヲナシタリト云ヒ以テ訴訟人カ法官ニ對シ裁判ノ
豫約ヲ求メタルニ比シ協議ノ範圍ヲ超ヘ命令ノ域ニ入り判事
ヲ無視セル不法至極ノ處置ナリト斷言セリ余輩ハ果シテ協議
ハ事實アリタルヤ否ヲ知ラス假リニ斯ル事實ノ存シタリトス

ルモ何か故ニ協議ノ事實ヲ以テ直ニ之ヲ命令ノ域ニ入レリト云フヤ夫レ判事ハ獨立不羈ノ官職ナリ其職務ヲ行フニ當リ他
人ノ掣肘ヲ受ク可キモノニ非サルハ大審院判事中之ヲ知ラサ
ルモノ無ケン横田氏ノ協議ヲ以テ命令ノ域ニ入レト云フカ
如キハ大審院判事ヲ侮蔑スルノ甚キモノニシテ職ヲ大審院
長ニ奉シタル兒島氏ノ宜シク口ニスヘキ所ニアラサルヘシ

第四

起草者ハ亦各裁判所ノ定員令ヲ改メテ共通ノ定員トナシタル
ナ以テ憲法ノ紛更ヲ試ミ法官獨立ノ實ヲ没却スルモノナリト
極言セリ憲法ノ紛更獨立ノ没却嗚呼之レ士君子ノ容易ニ口ニ
スヘキ言ナランヤ而カモ故ナクシテ之ヲ絶叫ス余輩ハ讀テ茲
ニ至リ所謂忠言書カ果シテ兒島氏其人ノ手ニ成リシモノナリ

ヤ否ニ付疑ヒヲ起サザルヲ得サルナリ抑モ裁判所ノ定員令ハ
單ニ裁判所ノ定員ヲ規定シタルモノニシテ他ノ諸官衙ニ於ケ
ル定員令ノ規定ト異ナルナク決シテ起草者ノ云フ如ク法官ノ
獨立ヲ保障スル意味ヲ有スルモノニ非サルコトハ一讀疑ヲ容
ル可カラサルナリトス只此定員令ナルモノハ偶然ハ結果トシ
テ上級法官ノ退職處分ヲ行フニ際シテ大ニ妨害ヲ加ヘタルコ
トハ識者ノ夙ニ眉ヲ蹙メシ所ナリ何トナレハ大審院又ハ控訴
院ノ判事老朽ニシテ退職ノ價値アル者ノ過半數ヲ占ムルニ
當リ一人ノ判事ヲ退職セシメント欲スレハ彼等動モスレハ自
家頭上ノ利害ヨリ相徒黨シテ總會ニ多數ヲ制シ退職ノ提案
ヲ否決セントスルノ企アリ有爲ノ俊材ヲ薦メテ廓清ヲ圖ラン
ト欲スルモ定員令ノ在ルアルカ爲メ之ヲ許サス於乎所謂老

朽者流ハ定員令ノ中ニ割據シテ新進ノ進路ヲ拒キ相結シテ
退職ノ制裁ヲ免ル、ノ奇觀ヲ呈スルニ至リタリ然レモ是レ只
偶然ノ結果老朽者流ヲ利益セシ過キシテ定員令其物ハ依然
トシテ法官ノ獨立ヲ保障スルノ意ヲ有セザリシコトハ何人モ
認メテ疑ハサル處ナリ此故ニ定員令ナルモノハ時宜ニ從ヒテ
之ヲ更改シテ毫モ不可ナキノミナラス世人ハ既ニ淘汰ノ妨害
ヲ排除スルカ爲メ其改正ヲ希望シタルヤ久シカリシモノナリ
然レモ定員令更改ノ結果當局者カ之ヲ濫用シテ自己ノ私ヲ爲
シオチ斥ケ不能ヲ薦メ司法ノ革新ヲ阻止セシムルカ如キコト
アラハ余輩モ亦鼓ヲ鳴ラシテ之ヲ攻メント欲スルモノナリ之
ニ反シテ改正ノ結果偶然ニモ老朽淘汰ニ便宜ヲ與ヘタリトセ
ハ余輩ハ寧口其意外ノ好結果ヲ得タルヲ喜ハスンハアチザル

ナリ思フニ論者ハ定員令改正其事ノ是非善惡ニ付テハ重キヲ
置カス單ニ之ヲ濫用シタル場合ヲ想像シ恰モ既ニ濫用セラレ
タルカ如ク臆測シテ謂レナキ批難ヲ加フルニ非サル乎然ラス
ンハ何ソ容易ニ憲法紛更獨立沒却等ノ評ヲ下スコトヲ得ンヤ
起草者又曰ク若シ退職ノ諭示ニ同意ヲ爲サルニ於テハ直チ
ニ二三ノ判事ヲ大審院ニ突入セシメテ總會議ヲ開キ退職ヲ議
決セシメント企テタリ云々有骨法官ノ地位ハ岌々乎トシテ危
殆ノ地位ニ立タリト云フ可シト余輩ハ未タ事ノ眞否ヲ審ニセ
スト雖モ假リニ之ヲシテ事實タラシムルモ亦必スシモ深ク咎
ムルニ足ラスト信スルモノナリ何トナレハ今ヤ新法典ハ既ニ
施行セラレ改正條約モ將ニ實施セラレントスルノ時期ニ際シ
帝國司法權ノ伸縮ハ判事其人ヲ得ルト否トニ係ルカ故ニ苟モ

眞正ニ司法部ノ刷新ヲ圖ラント欲セハ勢法律ノ許ス限リアラ
ユル手段ヲ用ヒテ老朽ノ淘汰ヲ行ハサル可カラサルコト勿論
ニシテ其淘汰ノ方法ニ至テハ總會ノ決議ヲ俟ツト旨ヲ諭シテ
退職ニ同意セシムルトナ問フコトヲ要セサルナリ若シ其論旨
ノ方法ニシテ多少不穩當ニ失スルコトアルモ之レ固ヨリ行政
ノ巧拙手段ノ得失問題ニ過キサリ奚ソ憲法ノ蹂躪ト稱ス
ルコトヲ得ン又奚ソ獨立ノ没却ト呼フコトヲ得ンヤ抑モ亦憲
法ハ此ノ如キ行政官ノ所爲ニヨリテ蹂躪シ得キモノニ非ス
法官ノ獨立ハ決シテ一次官ノ脅迫ニヨリテ没却シ得キモノ
ニハ非サルナリ
忠言書ニ依レハ退職者諸氏ヲ以テ脅迫威嚇ノ結果止ヲ得ス職
ヲ辭シタル者トナスカ如シ是レ反テ退職者諸氏ヲ誣フルモノ

ニ非サルナキ乎果シテ一次官ノ私黨的野心ニ出テタル論旨又
ハ脅迫ニ辟易シテ匆皇辭表ヲ提出シタルモノナリトセハ其無
骨不能眞ニ言句同斷ト云フ可ク斯ノ如キ無能力ナル判檢事ハ
如何ナル方法ヲ執リテモ極力之ヲ排斥セサル可カラサルナリ
余輩ハ信ス退職諸氏ハ謙讓ノ徳ニ富ミ兼テ時勢ニ鑑ミ後進ノ
路ヲ塞キ俸祿ヲ叨リニスルヲ恐レ深ク自ラ反省シタルノ結果
喜ンテ諭旨ノ意ヲ體シ所謂和氣雍々ノ間ニ其職ヲ去リタルモ
ノナルコトヲ然ラズンハ奚ソ毅然トシテ脅迫ヲ斥ケ嚴乎トシ
テ構成法ノ與ヘタル獨立ノ牆壁ニ嬰リ徐ロニ進退ヲ總會ノ決
議ニ繫ケ其間行政當局者ニシテ若シ忠言書言フ如クノ私心見
ル可キアリ非舉ノ問フ可キアラハ侃々諤々トシテ其暴ヲ責メ
其非ヲ鳴ラシ一身ヲ抛テ憲法構成法ノ爲メニ盡瘁スルコトヲ

爲サ、ハ、リ、シ、ヤ、胡、爲、レ、ソ、踏、躑、逡、巡、諾、々、ト、シ、テ、辭、表、ヲ、呈、シ、退、テ、而、
シ、テ、後、更、ラ、ニ、紛、々、擾、々、ト、シ、テ、朋、黨、比、周、ヲ、云、々、シ、口、ヲ、他、人、ニ、籍、
リ、名、ヲ、正、義、ニ、托、シ、論、難、攻、擊、ス、ル、カ、如、キ、卑、劣、ノ、舉、動、ニ、出、ツ、ル、コ、
ト、ヲ、爲、ス、ヤ、余、輩、ハ、退、職、諸、氏、ノ、高、潔、ナル、心、事、ヲ、諒、ス、ル、カ、故、ニ、斷、
シ、テ、其、復、讐、的、舉、動、ニ、出、ル、カ、如、キ、コ、ト、ヲ、ナ、サ、ハ、ル、ヘ、キ、ヲ、信、シ、テ、
疑、ハ、サ、ル、ナ、リ、

第五

忠言書ニ曰ク明治二十五年山縣侯ノ司法大臣タルヤ院長檢事
長等ハ部下ノ淘汰案ヲ具シテ曰ク「本職等ニ至リテハ取捨採擇
一ニ閣下ノ鑑識ニ依リテ進退ヲ決セン若シ閣下ノ一言アラン
カ本職等ハ法律ノ保障ヲ論セス下命ノ理由ヲ反問セス言下ニ
處決ス可キヲ誓フ」ト云々爾來此默契ハ一種不文ノ良習慣ヲ作

リ法ヲ施サス理由ヲ問ハス雍々トシテ德義上ノ處決ヲ爲スモ
ノ司法部ノ風ヲ爲セリ「ト嗚呼司法部果シテ雍々トシテ德義上
ノ處決ヲナスノ美風存セシヤ余輩ハ未ダ其事實ヲ知ラズ寧口
却テ其反對ノ混亂ヲ歴史ニ閱セシヲ悲ム然レトモ假リニ此ノ
事實アリシトセンカ法律ノ保障ヲ論セス下命ノ理由ヲ反問セ
ス單ニ大臣ノ鼻息ヲ窺ヒ其一言ニ依リテ進退ヲ決セント云フ
ニ至リテハ果シテ司法ニ忠實ナルノ良法官ト云フヲ得可キカ、
果シテ自己ノ職責ヲ知悉スル明法官ト稱スルヲ得可キカ、將又
此ノ如キ默契ヲ指シテ以テ司法部ノ良習慣ト稱スルヲ得可キ
カ、惟フニ剛直自ラ持シ學識德望ハ恃ムニ足ル有ル者ハ決シテ
彼ハ如キ職責ヲ侮蔑シタル諂諛ノ言ヲ發セサル可シ然レモ彼
等ニシテ自ラ其老朽事ニ堪ヘザランヲ慮リ所謂高踏勇退ノ意

ニ。基。キ。テ。此。言。ヲ。爲。セ。シ。モ。ノ。ナ。ラ。シ。メ。ハ。尙。大。ニ。怒。ス。可。キ。モ。ノ。ア。ラ。ン。而。カ。モ。所。云。反。對。ノ。歴。史。ハ。當。時。某。々。法。官。ノ。如。キ。或。ハ。前。言。ヲ。食。ミ。總。會。ノ。議。決。ヲ。要。ス。ル。ニ。至。リ。タ。ル。ア。リ。或。ハ。再。三。勸。告。ノ。後。數。月。ノ。日。子。ヲ。費。シ。テ。稍。ク。ニ。シ。テ。退。職。セ。シ。ム。ル。ヲ。得。タ。リ。シ。者。ア。リ。此。ハ。如。ク。上。級。判。事。老。朽。淘。汰。ノ。聲。ハ。上。下。ニ。充。滿。ス。ル。ニ。拘。ハ。ラ。ス。所。謂。高。踏。勇。退。自。ラ。處。決。ス。ル。者。ナ。ク。偶。々。有。爲。ノ。志。ヲ。抱。キ。テ。司。法。部。ハ。革。新。ヲ。斷。行。セ。ン。ト。欲。ス。ル。モ。ノ。ア。ル。モ。獨。立。保。障。ノ。牆。壁。ニ。支。ヘ。ラ。レ。テ。空。シ。ク。素。志。ヲ。畫。餅。ニ。屬。セ。シ。メ。人。ヲ。シ。テ。構。成。法。尙。早。ノ。嘆。ヲ。發。セ。シ。メ。タ。ル。モ。ノ。其。後。回。ナ。ル。ヤ。ヲ。知。ラ。サ。リ。キ。此。ノ。如。キ。良。習。慣。ナ。ル。モ。ノ。上。級。法。官。社。會。ニ。存。在。ス。ル。限。リ。ハ。司。法。部。ノ。廓。清。ハ。得。テ。能。ク。望。ム。可。カ。ラ。ザ。ル。ナ。リ。

忠言書ハ所謂黨人ナルモノ、密謀豫備久シキヲ説キ曾テ之ヲ

清浦大臣ニ試ミテ失敗シ遂ニ之ヲ曾禰大臣ニ施シテ成效セリト曰ヘリ夫レ識者ノ淘汰難ヲ嘆セシヤ久シ、百方之ヲ計劃セシモ成ラズ僅カニ曩者ノ斷行アリテ稍面目ヲ一新シ、頗ル人意ヲ強フセシムルニ至レリ所謂密謀ノ豫備ナル語ニ更フルニ革新ノ計劃ナシトモ語ヲ以テセハ如何假令其間多少ノ私心ヲ挾ミシ者アリトスルモ大体ノ結果ニシテ淘汰ノ希望ニ合ヒ革新ノ實ヲ舉ゲ得タリトナスニ於テハ亦深ク咎ムヘキコトダラサルニ非スヤ

之ヲ要スルニ兒島氏ノ忠言書ハ其文字極メテ痛切ヲ裝フモ其意義頗ル模稜ニシテ故ヲニ淘汰其事ノ是非付テ論斷スルコトトチ避ケル只管朋黨比周ヲ批難シテ暗ニ老朽者ヲ庇護セントスルハ傾アルヲ見ル余輩ハ固ヨリ曩者ノ淘汰處分ヲ以テ完全無

瑕ナリト斷言スルモノニ非ス殊ニ横田氏自身カ次官トシテ淘
汰ヲ決行スルノ地位ニ在リナカラ自ラ進テ司法最高ノ地位ヲ
占メタルカ如キハ德義ヲ重ニスル行政官ノ所爲トシテ穩當ヲ
缺キタルモノニ非サルカヲ疑フモノナリ然レモ只一個人ニ
於ケル德義上ノ問題タルニ過キスシテ毫モ淘汰ノ美舉タルニ
害ナキヲ信スルナリ余輩ハ又彼ノ新進ノ人物ニ付テ慊焉タラ
サルモノナキニシモ非ス然モ非常革新ノ時ニ於テハ免ル可カ
ラザルノ數ナリトシテ之ヲ寬恕スルニ吝ナラサルモノナリ然
ルヲ強テ朋黨ノ有無ヲ詮索シ些少ノ事故ヲ以テ改革ヲ批難シ
延テ憲法ノ蹂躪ヲ叫ビ綏多ノ老朽者流ニ一大聲援ヲ與ヘ謙讓
勇退ノ美風ヲ破リ其極徒ラニ淘汰ヲシテ益困難ナラシメ新舊
思想ノ衝突ヲ助長シ朋黨相閱クハ弊ヲシテ愈増加セシメ新

トスルカ如キハ我司法部ノ爲メニ痛歎スヘキコトニシテ抑モ
亦國家ノ不利此レヨリ甚キモノナシ一日モ速ニ老朽法官ノ
モ躊躇スルナク顧慮スルナク帝國司法權ノ威信ヲ中外ニ發揚
行シ司法部革新ノ實ヲ切望シテ止マサルナリ而シテ其淘汰
シムルニ勉メシコトヲ成算存スル可シト雖モ余輩ハ
方法ニ至テハ當局者自ラ成算存スル可シト雖モ余輩ハ
一般判檢事ノ就職歴ニ徴シテ秀俊ノ者ヲ除ク外殆ン
其施行前ニ於ケル就職者ハ特ニ秀俊ノ者ヲ除ク外殆ン
ト其職ニ堪ヘサルモノト見做シテ去ルノ方針ヲ以テ
淘汰ノ標準トセハ老朽不能ノ輩ヲ斥ケル道ニ於テ最モ適當
タルヘキヲ信スルモノナリ

明治三十一年八月十八日印刷
明治三十一年八月二十日發行

明治三十一年八月十八日印刷
明治三十一年八月二十日發行

編輯者

京橋區宗十郎町十一番地
佐藤幸太郎

印發行兼者

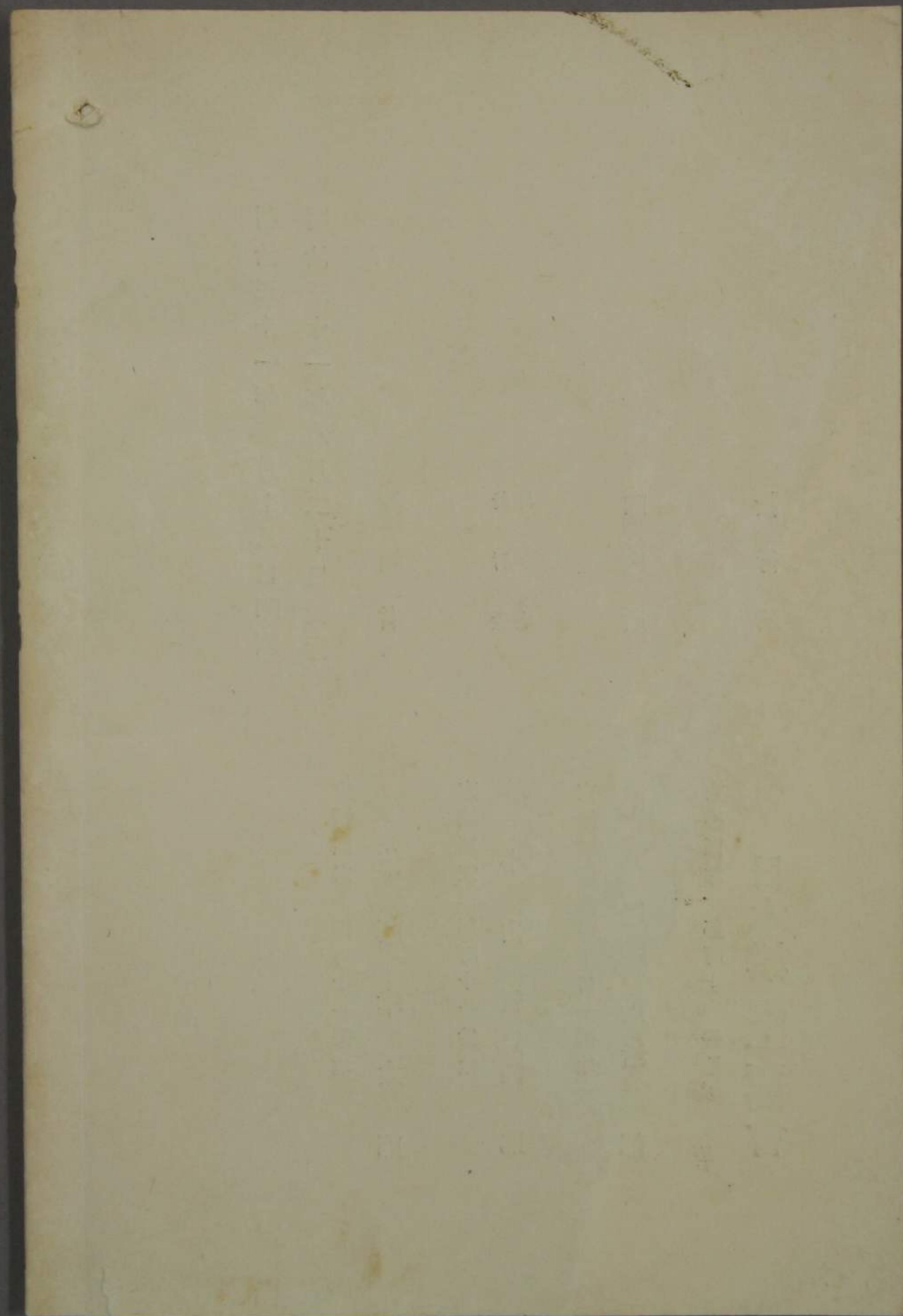
京橋區宗十郎町十一番地
小山哲四郎

印刷所

京橋區銀座四丁目一番地
八尾新助活版部

發行所

京橋區宗十郎町十一番地
日本辯護士協會



內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

親展



日本辯護士協會